

JSPS Information

- ◇日本惑星科学会第15回総会議事録
- ◇日本惑星科学会第15回総会
- ◇日本惑星科学会第39回運営委員会(書面による)議事録
- ◇日本惑星科学会第40回運営委員会 議事録

◇日本惑星科学会第15回総会議事録

日 時：2001年6月7日(木)

開催場所：地球惑星関連学会合同大会 会場 C513
(国立オリンピック記念青少年総合センター)

出席者数：71名(内委任状45通) (定足数 52名)

1. 開会宣言

荒川専門委員長より開会宣言があり、その後、榎森会員を議長に、田中会員を書記に選んだ。

2. 議事

2.1. 第5期下期活動報告

○基調報告(山本前会長)

- ・2001年秋期講演会(岡山理科大 10/6~8)
- ・学会運営・サービスにおける情報電子化
- ・合同学会運営機構連絡会

○会計報告(渡辺財務専門委員長)

- ・第5期下期決算報告

貸借対照表、第5期下期決算の収入と支出について説明がなされた。

支出においては、会員名簿が大きく、また電子情報化のためのサーバーの立ち上げに、謝金として30万円が支出されたことが説明された。

- ・第5期下期会計監査報告(藤井直之監事)

収支決算報告を監査した結果、収支計算に誤りのないことを確認したことが報告された。

- ・質問は無し。
- ・採択：賛成全員(26名)により採択された。

2.2. 第6期上期活動方針

○基本方針(案)(林副会長[水谷会長欠席の為])

- ・惑星探査を盛り上げる
- ・学会運営支援のための電子化の推進、立ち上げ電子化に向けての経緯と現状が簡単に説明された。

○予算(案)(渡辺財務専門委員長)

- ・第6期上期の収入予算について説明がなされた。2000年秋季講演会に対する助成金が今年度にずれ込んだこと、将来計画委員会からの要望によりサーバー維持費用と管理グループへの謝金を計上したことなどが報告された。
- ・コメント：学会長懇談会維持費(2万円弱)が必要(阿部対外協力委員長)。

IUGG準備金への支出はしなくて良いのか(藤井会員)。
財政状況からすれば支出は困難である。

- ・採択：賛成全員(27名)により採択された。

○学会運営支援のための電子化についての詳細

(林将来計画委員長)

- ・現状について
サーバーの立ち上げ、学会メーリングリストと学会Webページの移行を行った。学会Webページのドメイン名が取得した。
- ・今後について
・民間との共同プロジェクトにより、学会事務を電子化して運営

- ・内容
- ・学会 Webページを通して、名簿作成、会誌配送、会員情報の変更など、学会事務センターにお願いしていた部分を行う。
- ・Web ページで選挙を行うことにより、選挙用紙の印刷、郵送の業務を廃止する。
- ・将来、秋期講演会や夏の学校の支援システムを構築する。
- ・協力する企業は、株式会社 e-side。社員教育や学会Webページ構築のノウハウ蓄積を通じて協力企業にもメリットがある。
- ・運用費用は、学会事務センター+ a。テスト期間は2年。
- ・会員情報は、会員自らによりデータの更新を行う。
- ・スケジュール：
 - ・2001年5月・・・サーバー移設
 - ・2001年6月・・・実装スタート
 - ・2001年8月・・・会員入力実験
 - ・2001年10月・・・正式使用開始
- ・2002年より学会事務センターより業務を引き上げる。
- ・意見：海外在住の会員に対する扱いを維持して欲しい（クレジットカードで会費納入したい）という申し出があった。これに対し、クレジットカードでの会費納入にはコストがかかる為、それは認めない方向であるが、今後、海外在住の会員に対する対応について検討するとの回答があった。
- ・採択：電子化推進計画に対し、全員賛成(31人)で採択された。
- ・採択の結果に伴い、事務局や会則の変更作業を始めるとのことが、荒川総務専門委員長から伝えられた。
- ・「学会運営支援のための電子化」についてのさらなる意見や質問については、Email (steering@geopmars.ms.u-tokyo.ac.jp) にて受け付ける。

3. その他

○EPS運営委員会からの報告(比屋根政文誌専門委員)

- ・EPS の発行・購読状況、編集委員長改選結果、オンライン購読課金制などについて報告された。
- ・オンライン購読課金制については、購読者数減少やそれに伴う投稿数減少を引き起こすとの理由で反対するとの意見が出た。また、その代案として、購読料を支払っていない一般に対するオンライン公開を、1年程度遅らせてはどうかとの意見が出た。これらの意見は、惑星科学会からの意見として、EPS運営委員会に伝えられることになった。

○2001年秋期講演会開催(岡山理科大)の報告

(蛭川会員)

- ・参加費、予稿集費、懇親会費の事前振込
- ・講演会への中高生の聴講参加

○IUGG meetingでのセッション募集

(阿部対外協力専門委員長)

4. 議長団解任

5. 閉会宣言

◇日本惑星科学会 第15回総会

日時：2001年6月7日(木) 15:15—16:45

場所：地球惑星関連学会合同大会会場C513

(国立オリンピック記念青少年総合センター)

議事次第

1. 開会宣言

2. 議長団選出

3. 議事

3.1. 第5期下期活動報告

基調報告：山本前会長

会計報告：渡邊前財務専門委員長

会計監査報告：藤井前監事

各種専門委員会報告：各前専門委員長

質疑応答及び討論

採択

3.2. 第6期上期活動方針

基本方針(案)：林副会長・各専門委員長

予算(案)：渡邊財務専門委員長

質疑応答及び討論

採択

4. その他

5. 議長団解任

6. 閉会宣言

1. 第5期下期(2000年度)決算報告(財務専門委員会)

流動資産		流動負債	
現金預金	2,250,689	未払金	625,620
未収金	0	前受会費	30,000
流動資産合計	2,250,689	流動負債合計	655,620
固定資産		固定負債	
貯蔵品	50,000	長期借入金	0
固定資産合計	50,000	固定負債合計	0
		負債合計	655,620
		正味財産	1,645,069
		正味財産合計	1,645,069
資産合計	2,300,689	負債及び正味財産合計	2,300,689

第5期下期(2000年度)決算報告書(2000年1月1日～2000年12月31日)

予算額	決算額		
会費収入	3,846,000	3,828,075	
一般会費収入	3,037,500	2,643,075	会費値上げ7,500円
学生会費収入	585,000	427,000	会費値上げ5,000円
賛助会費収入	450,000	400,000	
滞納分納入	211,000	358,000	422,000円のうち
当期分未収会費	△437,500	--	
学会誌出版事業費収入	80,000	47,788	遊・星・人
講読料	80,000	47,788	個人・機関講読
広告料	0	0	
秋季講演会事業収入	245,000	273,000	筑波
予稿集頒布収入	100,000	0	無料化
参加費	145,000	273,000	1500円/学生1000円
雑収入	0	0	
寄付金収入	0	0	
雑収入	151,000	153,491	
受取利息	1,000	771	
その他の収入	150,000	152,720	学情入力等
当期収入合計	4,322,000	4,302,354	
前期繰越収支差額	1,526,371	1,526,371	
収入合計	5,848,371	5,828,725	

予算額	決算額		
学会誌出版・広報事業費	2,279,000	2,151,179	遊・星・人
印刷製本費	1,500,000	1,417,500	4回分・表紙
送料運搬費	180,000	138,420	著者分送料含まず
保管料	19,000	18,900	保管:委託事務
事務委託費	30,000	19,136	手数料:委託事務
備品・消耗品費	250,000	261,303	ネットワークサーバ
諸謝金	300,000	295,920	サーバ管理
講演会事業費	495,000	434,000	

合同大会共催事業費	95,000	11,000	
送料運搬費	85,000	0	
会場費	10,000	11,000	運営委・総会会場
秋季講演会事業費	300,000	423,000	筑波
予稿集印刷費	120,000	150,000	
会場費	0	0	無料
消耗品費	50,000	51,500	受付用品他
諸謝金	120,000	221,500	学会受付者謝金含む
雑費	10,000	0	
夏の学校補助金	100,000	0	
管理費(委託事務関連)	1,280,000	1,325,447	学会事務センター
業務委託費	980,000	979,881	名簿作成分含む
送料運搬費	260,000	322,840	
ニュースレター送料	180,000	253,640	選挙公報・名簿
その他送料	80,000	69,200	会費請求
雑費	40,000	22,726	コピー・通信
管理費(事務局関連費)	510,000	323,030	
通信費	0	0	
送料運搬費	32,000	18,170	会誌著者分他
消耗品費	30,000	0	
印刷製本費	280,000	228,480	集録・名簿印刷
諸謝金	80,000	49,680	会長雑務補助
諸手数料	8,000	6,700	振込手数料
負担金	80,000	20,000	ドメイン取得料
雑費	0	0	
予備費	1,284,371	0	
当期支出合計	5,848,371	4,233,656	
当期収支差額	△1,526,371	68,698	
次期繰越収支差額	0	1,595,069	

2. 第5期下期(2000年度)会計監査報告(監事)

日本惑星科学会会長殿 平成13年3月31日

第5期下期(2000年度)会計監査報告

財務専門委員会からの収支決算報告を監査した結果、収支計算に誤りのないことを確認しました。

日本惑星科学会監事 藤井直之 松田准一

3. 第6期上期(2001年度)予算案(財務専門委員会)

概要

学会員増加に伴い会費収入を増額し、支出も各委員会の要望等を勘案したため、それぞれ、前総会で示されたガイドラインから変更いたしました。収入の部の寄付金は2000年秋季大会への財団助成金ですが、振込が新年度にずれ込みましたので2001年度予算に

計上しました。

支出では、将来計画専門委員会よりの要望により、ネットワークサーバー維持費用と管理グループ謝金を計上しました。

秋季講演会事業費は会場費等の情報が不十分で概算値を計上しています。

当期実質収支差額(予備費分相殺)は166,000円の黒字です。

第6期上期(2001年度)収支予算書(案)(2001年1月1日~2001年12月31日)

予算額(案)	前年度決算額		
会費収入	4,000,000	3,828,075	3,600,000
一般会費収入	3,377,500	2,643,075	会費7500円
学生会費収入	610,000	427,000	会費5000円
賛助会費収入	400,000	400,000	
滞納分納入	306,000	358,000	613,000円のうち
当期分未収会費	△693,500	--	回収率見込より
学会誌出版事業収入	50,000	47,788	80,000
講読料	50,000	47,788	学会センターに委託
広告料	0	0	
秋季講演会事業収入	250,000	273,000	250,000
予稿集頒布収入	100,000	0	1,000円/冊を予定
参加費	150,000	273,000	1,500円/人を予定
雑収入	0	0	
寄付金収入	150,000	0	0
雑収入	151,000	153,491	150,000
受取利息	1,000	771	
その他の収入	150,000	152,720	学情入力等
当期収入合計	4,601,000	4,302,354	4,080,000
前期繰越収支差額	1,595,069	1,526,371	1,280,000
収入合計	6,196,069	5,828,725	5,360,000

予算額(案)	前年度決算額		
学会誌出版・広報事業費	2,200,000	2,151,179	2,150,000
印刷製本費	1,520,000	1,417,500	一般投稿主体に
送料運搬費	180,000	138,420	著者分送料含まず
保管料	20,000	18,900	学会センターに委託
事務委託費	20,000	19,136	学会センターに委託
備品費	160,000	261,303	ネットワークサーバ
諸謝金	300,000	295,920	サーバ管理
講演会事業費	595,000	434,000	600,000
合同大会共催事業費	95,000	11,000	
送料運搬費	85,000	0	プログラム郵送
会場費	10,000	11,000	運営委・総会会場
秋季講演会事業費	400,000	423,000	岡山理科大

予稿集印刷費	120,000	150,000	
会場費	100,000	0	概算値
消耗品費	50,000	51,500	名札、画紙等
諸謝金	120,000	221,500	学会受付者謝金含
雑費	10,000	0	ポスターパネル他
夏の学校補助金	100,000	0	
管理費(委託事務関連)	1,300,000	1,325,447	1,200,000
業務委託費	1,000,000	979,881	名簿作成等追加分
送料運搬費	260,000	322,840	
ニューズレター送料	180,000	253,640	極力学会誌に合本化
その他送料	80,000	69,200	会費請求
雑費	40,000	22,726	コピー、通信
管理費(事務局関連)	340,000	323,000	250,000

通信費	0	0	
送料運搬費	32,000	18,170	会誌著者分等
消耗品費	40,000	0	ファイル他
印刷製本費	120,000	228,480	集録印刷
諸謝金	120,000	49,680	会長業務補佐
諸手数料	8,000	6,700	振込手数料
負担金	0	20,000	
雑費	20,000	0	
予備費	1,761,069	0	1,160,000
当期支出合計	6,196,069	4,233,656	5,360,000
当期収支差額	△1,595,069	68,698	△1,280,000
次期繰越収支差額	0	1,595,069	0

◇日本惑星科学会第39回運営委員会(書面による)議事録

期 間：2001年3月22日(木)～3月30日(金)

並木則行

議 題：第6期上期(2001年度)収支予算書(暫定案)について

運営委員(欠席者)：春山純一

成立条件：期間内に議決返信のあった者を委員会出席とみなした

運営委員(出席者)：水谷 仁, 阿部 豊, 井田 茂,
大谷栄治, 倉本 圭, 香内 晃,
佐々木晶, 田近英一, 中村昭子,
林 祥介, 向井 正, 山本哲生,
渡邊誠一郎, 荒川政彦, 福岡孝昭,
寺蘭淳也, 中澤 清, 安部正真
渡部潤一, 渡部重十, 藤原 顕,

議事

1. 渡邊財務専門委員長より提案された第6期上期(2001年度)収支予算書(暫定案)は, 原案通り承認された。

◇日本惑星科学会第40回運営委員会議事録

日時：6月6日(水)18:00-20:30

オブザーバー：荒木, 蛭川, 榎森

場所：地球惑星科学関連学会 合同大会会場

報告

出席：林, 山本, 香内, 井田, 渡邊, 佐々木, 倉本, 田近, 中村, 大谷, 安部, 荒川, 春山, 福岡, 藤原, 寺園

1. 第38, 39回運営委員会(書面による)(荒川総務専門委員長)

・回覧により周知した。

欠席(委任状あり)：向井, 渡部(潤), 中澤

欠席(委任状なし)：水谷, 並木, 渡部(重)

2. 科研費補助金に係わる審査委員候補者(荒川総務専門委員長)

- ・細目「地球化学」の第1段審査委員候補者
 - ・分科「地球科学」の第2段審査委員候補者
- 上記の二分野について運営委員に推薦を募った後、会長と相談の上推薦したことを報告した。

3. 遊星人の発行状況(井田編集専門委員長)

- ・支障なく発行作業は進んでいる旨報告があった。
- ・次号(6月25日発行)には秋の学会の参加費振込み用紙が折り込まれるという説明があった。

4. EPSに関する報告(中村政文誌専門委員長)

- ・別紙の通り、EPSの会議報告があった。これに関しては総会でも説明を行い、学会員の協力を得たい旨の説明があった。

5. 2001年秋季講演会(春山行事部会長, 蜷川会員)

- ・別紙の通り準備が順調に進んでいる旨の説明があった。
- ・総会の時間は、明日(6月7日)の総会の様子を見て決めることにした。
- ・参加費、予稿集代金について、事前振り込み支払いについては昨年度と同額にする、ただし、当日支払いは¥500アップにすることを承認した。・シンポジウムの座長には、浜根氏、野瀬氏、講演者には国立教育研究所の方が上がっている。
- ・シンポジウムは、その企画意図からも高校生等の参加費を無料にする提案があった。
- ・これに関しては、対象者や対象日も含めてLOCに検討をお願いする。
- ・今年度の秋季講演会参加費等については、振り込み用紙によるLOCへの事前振り込みを認める。ただし、振り込み用紙の送付方法については、来年も行うならば今後検討が必要である。
- ・金星大気の惑星探査計画を学会としてバックアップするために、秋の学会では特別セッションを用意することを検討する。

議事

運営委員会の成立を確認後、議事に入った。

1. 入退会(荒川総務専門委員長)

- ・3人の学生会員の入会と1人の正会員の脱会を承認した。

2. 「ESR応用計測研究会」「地球近傍小惑星の観測及び軌道決定のための国際協力」

- 「2001年度高校生天体観測会(Astro-HS 2001)」協賛について(荒川総務専門委員長)
- ・以上の研究会を協賛することを承認した。

3. 第5期下期決算及び第6期上期予算

(渡邊財務専門委員長)

- ・別紙資料について説明があった。
- ・惑星科学夏の学校には学会として補助の用意があることを周知した方が良いとの意見があった。
- ・決算及び予算は原案通り承認された。

4. 2002年秋季講演会(春山行事部会長, 荒木会員)

- ・2002年の秋季講演会は、国立天文台(水沢)で行うことを決定した。
- ・実行委員長は、河野氏に依頼する。
- ・開催時期は10月か11月とする。

5. 情報化について(林副会長)

- ・これまでの経過と現状、及び今後のスケジュールについて説明があった。
- ・10月の総会で正式採用することを決定した。
- ・学会員に学会事務の情報化に対する理解を深めてもらう必要があるとの指摘 (1) 総会(6月7日)では林委員に、これまでの経過も含めてじっくりと説明してもらうことにする
- (2) 構築中のホームページを見せて内容を宣伝する。
- (3) 学会員の学会業務への参加意識を高める必要性
- (4) 個人データ入力への協力依頼

(5) 入会手続きもweb上で開始する

- ・1月の事務局移転にともない100%のオンライン会員を目指す。
- ・電子メールを持たない人やホームページにアクセスできない人をどのように扱うか？

(1) 学会員の中で電子メールの使えない人の人数を調べる。

(2) と非電子会員についての取り扱いは次期運営委員会で継続審議とする

- ・選挙の電子化について

(1) 現在の投票率(昨年18%)を上げるためにも是非とも必要である。

(2) 選挙に関わるコスト(郵送代, 手間)を下げる事ができる

(3) 非電子会員への連絡方法には「遊星人」を効果的に用いる。足りない分は個別郵送。非電子会員への対応は継続審議。

6. 事務局移転に伴う学会会則の変更

(荒川総務専門委員長)

- ・来年1月からの事務局移転に伴い, 学会の会則改定が必要である旨の説明があった。
- ・事務局移転も含めて情報化に伴い改定が必要な会則の見直しを秋の総会までに行うことになった。

7. 選挙規則の改定

- ・香内委員から現在の選挙方法を見直してはどうかという提案があった。
- ・福岡委員から監事の選出方法について, 承認は運営委員により行えるように改定するよう提案があった。
- ・事務局の情報化による電子選挙とも関係するので継続審議とすることになった。

8. 議長団の推薦

- ・榎森会員を議長に推薦
- ・田中会員を書記に推薦